

事務事業評価(事前評価)シート【令和6年度】

主管課(担当名)	【社会福祉課】	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	福祉交流館整備事業	事業番号	12993

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-08	地域福祉の充実
	施策目標	地域でお互いに助け合い支え合うまち	

2 事務事業の目的

目 的	障がい者と高齢者の日中活動の場である福祉交流館を整備し、施設利用者の安全や衛生面の確保を図る。
成 果	施設利用者が安全かつ快適に利用を継続できる。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年 度	概 要						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
	R6	カーペット張替、屋根改修工事、洗濯機設置、スポットエアコン設置						
事業費と内訳	(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
	事業費						8,300	8,300
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		ふるさと関連基金					450	450
		その他						
		一般財源					7,850	7,850
	人員(人工)						0.33	0.33
	職員費(人員×7,262千円)						2,396	2,396
	総事業費						10,696	10,696
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計／年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R5)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	地域活動支援センター延べ利用者数	1488人	-	1500人
	高齢者サロン延べ利用者数	1034人	-	1100人
	※地域活動支援センターは定員に上限があることから、概ね現状を維持することを目指すもの		-	
			-	
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	根室市福祉交流館「いこつと」(以下、「対象施設」)は、「障がい者と高齢者の交流施設」として、平成24年に旧根室市昭和児童会館(昭和54年建設)を大規模改修し、平成25年4月から供用を開始し、福祉避難所にも位置づけられているが、改修後10年が経過し修繕や更新が必要な箇所が生じていることから、公共施設等総合管理計画における個別施設計画に基づき段階的に整備を実施することで、利用者に快適かつ安全な利用環境を提供することが可能となる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 現場からの要望に基づき公共施設等総合管理計画における個別施設計画に反映させていることから、市民ニーズはあると考える。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市の施設であり、公共施設等総合管理計画における個別施設計画に基づき市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 大規模以後、改修等を実施していないことから、緊急性は高いと考える。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 利用者が快適に過ごせるようかつ安全性の確保を図るために、施設の整備を進めることは、適正と考える。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市公共施設等総合管理計画における個別施設計画に基づき、計画的に実施するものであり、概ね公平であると考ええる。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本事業の計画的な実施は、施設の利用環境の向上に資するものであり、有効性があると考ええる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業推進を図り、施設利用者の安全面や衛生面の確保を図るため、環境整備を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 施設利用者の安全面や衛生面の確保のため、利用者に寄り添いながら、計画通り事業推進し、環境整備を進めることとする。

作成年月

令和6年7月